

気候変動問題の解決のための、再生可能エネルギーの急速な普及と金融機関の投融資方針の導入に向けた調査・普及啓発活動

活動地域  東京都

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

金融機関へのメッセージ数	121件
新電力会社にパワーシフト宣言をした数	107人
今年度計画の達成度	60%
目標達成度	60%



現地調査における巻岐市長との面会の様子

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

- 調査実施前に、メンバーを集めて、気候非常事態宣言に関する勉強会を開催することができなかった
- 当日にヒアリング調査の際、メンバーの一部の質問数が少なかった

■ 工夫した点

- 再エネという課題以外にも、巻岐市の風土、地域創生についてのヒアリング調査を実施したことである
- 報告会ができなかった分、報告書を充実させることができた

課題

気候変動問題の解決のために、市民への再エネ普及と金融機関の投融資行動をパリ協定と整合化させることを通じて、化石燃料発電を減らし、再生可能エネルギーを急拡大させる。

目標

市民に向けて、再エネの普及率を上げていき、大手電力会社が石炭火力発電所事業から撤退を表明する。そして、金融機関がパリ協定の目標に向け、投融資方針を変えていく。

活動内容と成果

2019年度は、アースデイ東京でNPO団体、企業、新電力会社と連携し、「パワーシフト・気候変動エリア」として出展を行い、参加者に向けて新電力会社の紹介やパワーシフトキャンペーンの普及啓発を行った。
再生可能エネルギー、気候非常事態宣言 (CED) というテーマをもとに Fridays For Future Tokyoと連携したセミナーを開催し、その後、日本で初めて気候非常事態宣言 (CED) を採択した巻岐市に現地調査を実施した。その調査結果の報告書をWEBサイトに掲載することができた。



気候非常事態宣言セミナーの様子



グローバルフェスタ2019の出展の様子

全助成期間の活動を振り返って

- Fair Finance Guide1に関する活動では、セミナーを含め大学などに出張講義を実施し、参加者から銀行へのメッセージを集めることができた
- 再エネの普及啓発活動では、「このデンキがヤバイ！」WEBサイトを開設し、市民に向けて新電力会社の紹介を行い、またセミナーでは、参加者からのパワーシフト宣言を得ることができた

〒102-0082
 東京都千代田区一番町9-7 一番町村上ビル6階
 電話：03-5826-8737
 E-mail：info@aseed.org
 HP：http://www.aseed.org/



今後の展望

● 再生可能エネルギーの普及に加え、気候非常事態宣言をFridays For Future Tokyoと連携しながら、東京都を含めた都市・自治体に働きかけていく。そして、継続的に新電力会社の紹介をしていく取組みを実施していく予定である ● Fair Finance Guide1は継続的に活動していくと同時に、20～40代のNPO職員、NPO職員希望者を対象に資産運用に関するセミナーを開催する予定である